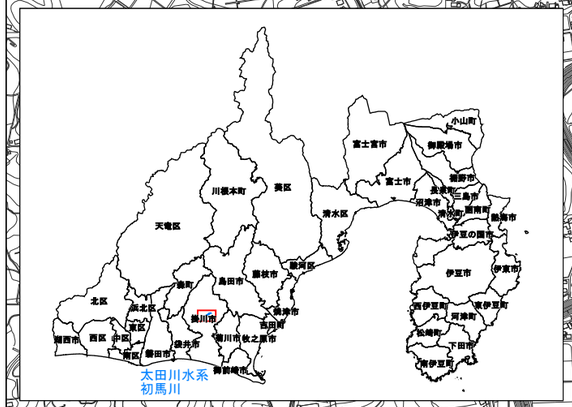
太田川水系初馬川　洪水浸水想定区域図(想定最大規模)



掛川市

国道1号

凡 例

浸水した場合に想定される水深
(ランク別)

- 3.0m～ 5.0m
- 1.0m～ 3.0m
- 0.5m～ 1.0m
- 0.3m～ 0.5m
- 0.3m未満
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の公表の対象となる河川

0 100 200 400 600 800 1000m

1）説明文

① この図は、太田川水系初馬川について、想定し得る最大規模の降雨により破堤又は溢水した場合に、その氾濫水により浸水が想定される区域と、当該区域が浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

② この洪水浸水想定区域図は、作成時点の河道形状等を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により初馬川が氾濫した場合の浸水の状況を、シミュレーションにより予測したものです。

③ なお、このシミュレーションの実施にあたっては、対象河川以外の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2）基本事項等

①	作成主体	静岡県
②	対象となる河川	太田川水系初馬川（実施区間） 左岸：宝谷沢川合流点から倉真川合流点まで 右岸：宝谷沢川合流点から倉真川合流点まで
③	公表の前提となる降雨	太田川流域の24時間総雨量629.5mm
④	関係市町	掛川市

3）その他計算条件等

① この図は、初馬川の県が管理する区間で、「小規模河川の氾濫推定図作成の手引き」（令和2年6月）等に基づき、越流、溢水又は破堤した場合の氾濫が推定される範囲、氾濫した場合に推定される浸水深を表示した図面です。

② この図は、初馬川の上記２）②に記載した区間において、一定の条件で破堤させたときの氾濫解析計算結果を基に作成したものです。

③ 氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。

④ 河道の形状は、航空レーザ測量データを使用して作成しており、水面下等一部の地形を適切に評価できない場合があるため、氾濫した場合に推定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

⑤ 浸水が想定される区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水深を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物（道路や鉄道の盛土など）等を考慮して図化しています。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 3JHs 406」

※A1版出力時は1：8,000、A3版出力時は1：16,000